

第2回岩手県立杜陵高等学校奥州校(仮称)開校準備検討委員会会議録

日時：平成19年11月7日(水) 14:00~15:30

場所：岩手県立水沢商業高等学校 実践室

1 開会

(事務局) ただいまから、第2回岩手県立杜陵高等学校奥州校(仮称)開校準備検討委員会を始めます。
なお、本委員会は県の審議会に類する会議として公開することとしております。会議終了後は会議録をホームページ上で公開することとなります。次第にのっとって会を進めます。
委員長あいさつ。

2 委員長あいさつ

(岩手県立杜陵高等学校長松岡隆之)

杜陵高等学校長の松岡隆之でございます。本日は第2回岩手県立杜陵高等学校奥州校(仮称)開校準備検討委員会にお集まりいただき有難うございます。第1回の開校準備検討委員会は7月の終わりでしたが、まだ梅雨が明けていなくて、県南地区で大雨があり列車等が遅れました。今日は秋晴れのいい中を水沢に参りました。今日の第2回の開校準備検討委員会にあたり、これまで県教委の担当課にはチーム検討会議等を開いて頂きまして、今まで進めてきてもらったところであります。今県内では分校等についても統廃合が進む中で、新たにこの地区に多部制の分校を造るということで、この意味は非常に大きいと思っております。杜陵高校の分校ということ、この地に新しい学校が造られるわけですが、地域の皆様のご理解・ご支援なくしては良い学校ができないと思っておりますので、今回は委員の皆様には建設的なご協議をお願いできればと思っております。可能ならば、今日の第2回開校準備検討委員会をもって一つの方向性を出したいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

3 経過報告

(委員長) 会を進行いたします。事務局から経過報告をお願いします。

(事務局) これまでの経過について、会議資料に沿って説明。

(委員長) 「これまでの経過について」事務局から説明がありましたが、委員の皆様から質問がございましたらお願いたします。

<無し>

4 協議

(委員長) それでは協議に入ります。(1)校名について提案をお願いします。

(事務局) 前回の検討の結果、公募することによる時間と労力を省き、「検討委員会で検討し、校名候補を1つまたは複数に絞り、県教委に報告する。」という方法とし、所在地の名称を使用している学校が多く、「奥州」の名称を使用した高校名はないこと、また、学科が普通科であることから、「岩手県立杜陵高等学校奥州校」という校名を候補とし、報告する。以上提案します。

(委員長) 校名についての提案でしたが、ご質問、ご意見があればお願いします。

<無し>

(委員長) それでは、校名については「岩手県立杜陵高等学校奥州校」という校名を候補として報告する。という方向性で確認します。

(委員長) (2)教育環境について、事務局をお願いします。

(事務局) 校舎について

校舎として、岩手県立水沢高等看護学院校舎の改修を行って使用することとなり、耐震診断調査は終了し、設計段階に入っている。普通教室4、特別教室(理科実験室、調理実習室、コンピュータ室)講堂、保健室、会議室、職員室、図書室、進路指導室は確保することとしている。

単位制のシステムを効果的に機能させるため、教室の数をある程度確保する必要があり、さらに、多様な生徒に対して、個別指導や少人数指導のための小教室が必要である。生徒の入学人数の動向を見ながら、授業によっては、パーティション等で教室を分割できるようにすることなど、可能な限り教室を確保する工夫をすることが望ましい。

体育施設について

敷地内に体育施設がないことから、近隣の体育施設を借用しなければならない状況である。

- ・定時制課程の体育の授業場所として、校舎から 300m程離れた所にある水沢公園体育施設の定期的借用を要望するとともに、同公園内の水沢体育館の借用が厳しくなる時期があることから、体育の授業をその時期は避けるなど、時間割の工夫を行うことが適切である。また、生徒の移動については、安全確保に十分配慮する必要がある。
- ・学校行事等で水沢公園体育施設を借用する場合は、事前の年間行事計画等で調整を行い、部活動の活動場所については、生徒の意向を踏まえながら、開校後検討して行くことが適切である。
- ・通信制課程の日曜日スクーリングにおいて、体育の授業や集会等で体育施設を使用する際、水沢体育館は日曜日の利用状況が大会等でほとんど利用されているため、借用は難しい。定期的借用や生徒の人数を考慮すると、従来どおり水沢商業高等学校の体育施設を使用することが望ましい。

通信制課程について

通信制課程を新校舎へ移すことについては、生徒の実態を踏まえ、校舎を離れた体育の授業および移動における危機管理に備える体制を整えること、日曜日に行われるスクーリングの際の体育や 120 人程の集会等ができる施設の借用は、水沢商業体育館以外は困難であること、また、車で通学している生徒が多く、新校舎付近の道路が狭いことから、事故等が懸念されること等の課題がある。これらの課題について対応策を模索したが、通信制の生徒にとって、学習環境の条件がさらに厳しいものとなると考え、通信制課程のスクーリングは現在のまま水沢商業高校で行うことが適切である。また、教員の勤務場所については、新校舎とするか、現在の水沢商業高校にそのままとするかは、様々な状況を考慮しながら、教育活動が有効に機能する体制となることが望ましい。

通信制の教員の勤務場所については、今回の検討委員会である程度の方向性が出せれば、その形で提案したいので、この点をよろしく願いたい。

その他

定時制・通信制の生徒の実態に対応した指導の充実および単位制の特色を出すため、課程を超えての教員間の交流を図るとともに、養護教諭とカウンセラーも含めた適切な人的配置を望む。

以上提案します。

- (委員長) (2)教育環境について協議に入ります。まず ①の校舎について、ご質問・ご意見を願います。
- (委員) 限られたスペースを有効に使うということしか方法が無いと思いますが、教材教具・資料等を管理・保管する場所はどこになるのでしょうか。
- (事務局) 今のところ設計案では準備していません。限られた予算ですから、今は外に新しい建物を造る状況ではありません。1・2年目は教室に余裕ありますから、そこを利用しその後、外に物置等を準備して頂き、体育用具等も収納していく方向で考えています。
- (委員長) 現在は外に物置等がありますか。
- (事務局) ありますが、すべて取り壊して更地にする予定です。
- (委員長) 敷地内にちょっとした物置的な建物を造ることは可能でしょうか。
- (事務局) スペース的には可能ですので、今は様々な条件から造るとは答えられないが、将来的には必要かと思われます。
- (委員) 図書室についてですが、蔵書規模はどの程度なのでしょう。
- (事務局) そこまでは詰めていません。今後現場の先生方と相談しながら進めていきたい。
- (委員) 要望ですが、コンピューターシステムを導入してはどうか。そのことで、図書室が狭くても利用価値があがると思います。
- (委員) 二つ質問いたします。まず、危険な校舎ではないかということで色々検討したと思いますが、その結果は如何であったのか。次に、職員室は生徒にとって重要な位置を占めます。敷地内の寮になっている所を更地にするわけですので、せめて職員室だけでもそこに建て増しすることはできないものなのでしょうか。
- (事務局) 一点目についてです。診断結果は12月に出来ますが、大丈夫だろうとかがっています。二点目についてです。この件については委員からは色々うかがっておりました。予算的にかなり厳しいものがあり、校舎内に職員室を設けるといって方向で進んでいます。

- (委員) 先ほどの図書室の件がありましたが、奥州市として体育館、グラウンド、図書館の使用についてもご協力いたしますので、せめて職員室等の機能を良いものとして、生徒達が入学したときに頼りになるという雰囲気迎え入れたいと思います。検討をお願いいたします。
- (委員長) 要望ということになりますね。
- (委員) 前回の会議で「困った学校ができる」という話を頂いている、と聞いてショックを受けました。委員長のあいさつにも、地域の理解・支援がたいへん大事だとありました。駐車場の条件整備や職員室の件とか、また周辺道路の交通事情等様々あるが、周辺地域が歓迎してくれるような素晴らしい教育施設ができるという、何かそのあたりの理解を得る努力をして頂きたい。
- (委員長) ご意見ということで県教委で受け止めて頂きたい。また、すぐ出来る部分と出来ない部分があると思うが、引き続きご検討をお願いします。
- 私からですが、夜間部ができるから、夜食があります。食事場所や衛生面等も含め、夜食の件について考えてほしい。図書室についてですが、従来の形にとらわれず、フリースペースにして、新聞を呼んだり、パソコンを利用したりする場所にしてはどうか。
- (委員) 限られたスペースを如何に有効活用するかが大きな課題だと思います。会議室が狭いので、全員でできる会議室も必要だと思います。
- (委員長) それでは、の校舎については、改修後の案で、当面これで進めてもらうという方向性を確認したいと思います。
- (委員) 非常階段はありますか。
- (事務局) 非常階段は外にあります。
- (委員長) 次にの体育施設について、ご質問・ご意見をお願いします。
- (委員) 校庭の広さは十分なのでしょうか。
- (委員長) 校庭はないです。ただ、水沢公園のグラウンドを使用することは可能です。
- (事務局) 寮を取り壊した場所は、更地にして駐輪場と3人对3人のバスケットができるスペースは取れるかなと考えています。周りにはベンチを置くことも考えていますが、校庭は無理です。
- (委員) 水沢公園内には、ナイター付きのテニスコートもあり、これらの施設も吟味して頂きたい。グラウンドにはナイター設備がありません。
- (委員長) それでは、の体育施設については大筋では事務局案の方向で進めるということで確認したいと思います。
- (委員長) 次にの通信制課程について、ご質問・ご意見をお願いします。
- (委員長) スクーリング日の日曜日に登校する以外はどうでしょうか。
- (事務局) 三修制の生徒のために、水・金曜日の午前中です。個別指導はいつでも登校可能です。新校舎の場合、午前中は教室が空いていますので授業は可能です。
- (委員長) それでは、の通信制課程については当面事務局案の方向で進めるということで確認したいと思います。
- (委員長) 職員室については、如何なさいますか。
- (委員) 生徒が水沢商業高校で学ぶわけですので、生徒の安全面等を考えた場合、職員は水沢商業高校にいたほうが、望ましいと思います。
- (委員長) 改修後の図面を見ても、職員室の場所を確保するのが難しいと思われます。
- (委員) 次のその他に「課程を超えて教員間の交流を図る」ありますので、定期的に会議を持てば、主旨が生かされるのではないのでしょうか。
- (委員長) 職員室についても今まで通り、水沢商業高校に置かせてもらうということで確認したいと思います。
- (委員長) のその他の部分についてですが、現在分室の通信制には養護教諭が配置されていないので、非常勤でもいいですから是非配置をお願いしたい。スクールカウンセラーについても優先的に配置をお願いしたいので、ご検討願いたい。
- (委員) 教員の人数は何人の予定でしょうか。
- (事務局) 今のところ、定通合わせて20人程度と考えられます。この他に非常勤講師として、地域の人材を活用することも考えています。
- (委員長) (3)教育体制について、事務局お願いします。
- (事務局) 教育コンセプトについて

岩手県立杜陵高等学校奥州校(仮称)のコンセプトは、『多様な生徒に学習の機会を広く与える夢のある学校』とする。

定時制・通信制課程の生徒は、従来からの勤労青少年に加えて、心身に悩みや問題を抱えている生徒や全日制課程からの転・編入学する生徒など多様な入学動機や学習歴を持つ生徒が増えてきている。

そのため、生徒のニーズに応え、生徒一人ひとりの能力、適性に応じたきめ細かな指導を行うとともに、地域の方々の協力を得ながら、地域との交流を図るなど、地域に開かれた学校にすることを目指し、豊かな人間関係を築き、自己実現ができるよう様々な手立てを講ずることが望ましい。

教育目標については、杜陵高校本校の教育目標を基本とし、生徒の実態や地域のニーズに応じながら、さらに検討することが適切である。

定時制課程について

定時制課程は昼間部・夜間部の多部制(2部制)の単位制となる。

単位制は、学びたい科目を選択して、自分の時間割をもつことができるシステムであるが、教室の数が少ないため、多くの科目を開講することは難しく、選択の幅は限られる。そのため、生徒の履修形態に計画性をもち、必履修教科・科目を早めに履修させるとともに、4修制を基本としながら、3修制のニーズが高いことから、昼間部は3修制コースを設定し、夜間部は3修制コースを設定せずに、定通併修による3修制を認めることが望ましい。

教育課程は、基礎基本を重点に置くとともに、資格取得を目指す学習に対して意欲が高いことから、商業科目等も含め選択科目の充実を図ることとし、また、資格取得が可能な指導体制を整えることが適切である。

単位認定に関しては、1年を前期・後期に分け、その学期ごとに単位を認定することとし、さらに、資格等を単位に認定するなど、柔軟かつ適切に対応できる制度とすることが望ましい。

通信制課程について

通信制課程は、レポート提出(添削指導)、スクーリング(面接指導)およびテストの3本柱からなる学習活動を行っている。

従来どおり、スクーリングは日曜日とし、さらに3修制を希望する生徒のために平日の午前週2回行うこととともに、水沢商業高校定時制課程の生徒の履修も認めていることから、定時制課程の夜間部だけでなく昼間部の生徒に対しても履修を認めることとする。

単位認定に関しては、定通併修も含め多様な生徒に対応するため、前期・後期それぞれ単位認定を行う2期制について検討することが望ましい。

部活動について

部活動については、生徒の意向を配慮するとともに、定時制、通信制の生徒間の交流、地域との交流および活動場所も含めて検討することとし、平日の活動時間は基本的に昼間部の授業終了後から夜間部の授業が始まる前とすることが適切である。

(委員長) (3)教育体制について協議に入ります。まず の教育コンセプトについて、ご質問・ご意見をお願いします。

(委員) 学区制はないのでしょうか。

(事務局) ありません。

(委員) 「地域の方々の協力を得ながら、地域との交流を図るなど、地域に開かれた学校にする」とあり、その通りだと思いますし、今度できる学校は本当に大事だと思います。どのようなことを考えているのでしょうか。

(事務局) 非常勤講師として地域の方をお願いするとか、地域に出て行ってボランティア活動するとか、近くにある様々な施設に積極的に出かけていき、活動の状況を見てもらう等を考えています。余裕があれば地域の方々に学校に来て頂き、講座等を開ければ良いかなと考えています。

(委員) 近くに緯度観測所がありますし、また、文化施設も沢山ありますから、これらを利用して頂ければ地域との交流になると思います。

(委員長) 盛岡市上田地区では、「杜陵高校が存在することが、地区の活性化になっているし、ずっと見守っているから誇りになっている」と言って下さる方もいる。分校もそのような形になれば良いと思います。

そのためにどうすればよいか、いろいろと考えていかなければならないでしょう。

これから具体的なことを決めていくということで、この 教育コンセプトの方向で進めるということで確認したいと思います。

(委員長) ところで、「夢のある学校」より「夢の実現できる学校」が良いのではないのでしょうか。

生徒に主体性を持たせるため、夢を実現するために入った学校なので、それを支えてやる学校である、ということではないのでしょうか。

(委員長) それでは、 の定時制課程について、ご質問・ご意見をお願いします。

<無し>

(委員長) 大筋では事務局案の方向で進めるということで確認したいと思います。

(委員長) それでは、 の通信制課程について、ご質問・ご意見をお願いします。

現在 2 期制について検討を始めています。

<無し>

(委員長) 大筋では事務局案の方向で進めるということで確認したいと思います。

(委員長) それでは、 の部活動について、ご質問・ご意見をお願いします。

現在定通の大会で出場校が少なくなっている状況である。

<無し>

(委員長) 大筋では事務局案の方向で進めるということで確認したいと思います。

(委員長) (4) その他について、事務局お願いします。

(事務局) 委員長のあいさつにありましたが、今回で方向性が定まった場合は、この会は閉じさせて頂くということでしたが、如何いたしましょうか。

(委員長) 如何いたしましょうか。大筋では事務局案の方向で進めるということで確認しました。

(委員長) ご異議がないようですので、第 2 回を持って終了して、県教委に今日の話し合いを受けて、再度まとめてもらい、進めてもらうということにします。

(事務局) 今回で終了となりますので、検討委員会の資料を作成し、県に報告しなければなりません。報告書については、委員長に任せることでよろしいでしょうか。

(委員長) そのように進めさせていただきます。

(委員長) 協議の部分は以上で終わらせて頂きます。第 1 回、第 2 回と委員長を務めさせて頂きまして、ここまで来ました。いろいろご協力頂き有り難うございました。

5 その他

(事務局) 有り難う御座いました。事務局からはその他はありません。

この際、委員の方々から何かありましたら、お願いします。

(委員) 分校より独立校のほうが、教員の意欲が高まるのではないのでしょうか。将来的には独立校するということは考えていないのでしょうか。

(鷹嘴文昭高校改革担当課長)

奥州校を立ち上げるにあたり、関係の方々といろいろと協議をしてきました。現在、生徒数の減少に伴って高校の統廃合を実施していかなければならない地域が出てきています。その中で新たな学校を造っていくということで、まず無理なくスタートさせ、その後の状況を見ながら、判断していきたいと考えています。

(委員) このような多部制高校は県下で何校を予定していますか。

(鷹嘴文昭高校改革担当課長)

後期計画の 21 年度までは久慈高校長内校と杜陵高校奥州校の 2 校です。

(事務局) 最後に、鷹嘴文昭高校改革担当課長からお礼を申し上げます。

(鷹嘴文昭高校改革担当課長)

長時間にわたりまして、本当に有り難う御座いました。大きな方向性について示して頂きましたので、これに沿って実務的には杜陵高等学校といろいろ協議し、また、関係の市町村とご相談しながら、進めさせて頂きたいと思います。検討委員会はこれで閉じることとなりますが、財政上制約を受けた中でのスタートとなりますので、今後ともご意見を頂きながら進めていきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

(事務局) 以上をもちまして、第 2 回岩手県立杜陵高等学校奥州校(仮称)開校準備検討委員会を終わらせて頂きます。有り難うございました。